

(表中敬称略)

会議名	実務家教員育成研修プログラム開発部会 (第2回)		
日時	令和3年3月11日(木) 13時30分～15時		
場所	オンライン (Zoom ミーティング)		
出席者			
カテゴリ	所属 (学校等・部門・部署)	役職	氏名
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	部長	先本 勉
連携企業 部会長	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与 (建コン協近畿)	田底 成智
連携企業	西日本高速道路株式会社	関西支社 構造担当部長	佐溝 純一
連携企業	西日本高速道路株式会社	技術研修担当課長 (茨木技術研修センター長)	福富 章
連携校	福井工業高等専門学校	助教	樋口 直也
連携校	福井工業高等専門学校	嘱託教授	阿部 孝弘
代表校 副部会長	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	玉田 和也
連携校	香川高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	林 和彦
協力校	国立大学法人長岡技術科学大学	教授	岩崎 英治
連携校	放送大学学園	課長補佐, 社会連携コーディネーター	東海林 壽朗
連携校	福島工業高等専門学校	特命助教	浅野 貴元
連携校	長岡工業高等専門学校	助教	白井 一義
連携校	長岡工業高等専門学校	特命助教	丸山 聡
連携校	福井工業高等専門学校	特命助教	宮川 清剛
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田 知子
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛 園恵
連携校	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	入江 正樹
議事次第			
1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也			
2. 部会長挨拶 (一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部 参与 田底 成智 様			
3. 実務家教員育成研修プログラムの概要について (審議)			
・実務家教員育成研修プログラム パンフレット (案) …… 資料1			
・実務家教員育成研修プログラム シラバス (案) …… 資料2			

4. 実務家教員育成研修プログラムの受講者の推薦について（審議）

- ・実務家教員育成研修プログラム（2021年度実証講座）受講者募集要項（案）…… 資料3

5. まとめ

6. その他（今後の予定、事務連絡等）

- ・令和3年3月11日（木）10:00～11:30 @オンライン  
リカレント教育プログラム開発部会（令和2年度第2回）
- ・令和3年3月12日（金）10:30～12:00 @対面・オンライン併用  
人材育成・活用システム設計部会（令和2年度第1回）
- ・令和3年3月12日（金）13:30～15:30 @対面・オンライン併用  
REIM産学連携コンソーシアム合同会議（令和2年度第3回）
- ・令和3年3月18日（木）14:30～17:00 @対面・オンライン併用予定  
外部評価：社会基盤メンテナンス技術レベル検討委員会（令和2年度第5回）
- ・令和3年3月20日（土・祝）10:00～17:00 @オンライン  
大学改革を担う実務家教員フェア2021（第2回）
- ・令和3年3月23日（火）13:30～16:30 @舞鶴高専  
京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会（令和2年度第1回）
- ・令和3年5月頃予定  
REIM産学連携コンソーシアム合同会議及び各部会@対面・オンライン

以上



写真1 田底 部会長挨拶



写真2 玉田副部会長挨拶



写真3 オンライン参加者



写真4 会場風景

## 実務家教員育成プログラム開発部会（第2回） 議事録

日時：令和3年3月11日（木）13:00～15:00

場所：オンライン（Zoom ミーティング）

1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也
2. 部会長挨拶 (一社) 建設コンサルタンツ協会近畿支部 参与 田底 成智 様
3. 実務家教員育成研修プログラムの概要について（審議）
  - ✓ 当該プログラム受講の前提となる“技術士又は技術士に相当する資格”については、“相当する資格”を幅広く考え、資質があれば受講できるよう検討する。
  - ✓ 受講期間は、年度末に絡むと受講しにくいいため、受講者ニーズを踏まえて設定すべき。1 ヶ月程度早めることも検討されたい。
  - ✓ 約8 ヶ月と長期に渡るプログラムのため、欠席者に対するフォローも必要である。
  - ✓ 修了者の称号『専門教士（建設部門）』（仮称）については、引き続き議論する。
4. 実務家教員育成研修プログラムの受講者の推薦について（審議）
  - ✓ 称号の認定は、国立高等専門学校機構が行う方向で検討を進める。
  - ✓ 認定者は、高専のリカレント教育以外にも、多様な活躍・就労の場があるとよい。
  - ✓ 2021～2023 年度の3 ヶ年で30 人の実務家教員の育成を目標とする。
  - ✓ 受講者の負担軽減のため、本講座開講に向けて、オンライン受講、前期・後期の分割受講、厚労省の給付金対応等も検討する。
  - ✓ 募集要項の内容が厳しく、実際には、志を持った技術者でないとプログラムに耐えられないため、いかにして人材を発掘するか考えていく必要がある。
  - ✓ 各高専及びREIM 連携企業は、受講者の推薦について積極的に検討する。
5. まとめ
  - ✓ 合同会議にて、田底部会長より部会報告を行う。
6. その他（今後の予定、事務連絡等）

以上